

秋号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所

連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17

TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

日時：令和7年1月12日(日)10:00～12:00
14:00～16:00

場所：21世紀記念公園とんがりふれあい館ホール

定員：各20名

内容：季節の寄せ植え

受講料：500円

募集期間：令和6年12月20日(金)9:00から
令和6年12月25日(水)17:00まで

申込方法：電話、メール、FAX 又は窓口で受付

定員を超えた場合は抽選となります。

【みどり講習会】*受講料無料、予約不要

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付申請者及び希望者

① 日時：令和6年10月27日(日)10:00～12:00

内容：冬の手入れ方法

② 日時：令和6年11月24日(日)10:00～12:00

内容：土壌改良、肥料

③ 日時：令和7年3月9日(日)10:00～12:00

内容：庭造りのポイント

* 樹木医による園芸に関する講座です。

今年の夏も日本列島は猛暑に包まれました。これが平年並みといわれるようになってしまうのですかね？前半は雨が少なく植木への水やりに苦労しましたが月遅れのお盆以降は時々雨があって助かりました。しかしその雨もゲリラ豪雨だったり突風が吹いたりとは前は少なかった異常気象です。過酷な環境によって樹木は少なからず影響を受け衰弱しています。そのようなことも一因となって枝折れや倒木を引き起こしているかもしれません。十月になると日も短くなり朝晩の冷え込みが感じられるようになります。これからは紅葉を楽しめる時季になりますね。この写真は色づき始めたムラサキシキブです。



My ガーデニング …… 季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

これからは気温が下がってきますので水やりの間隔はあくようになります。乾燥具合をみてあげるようにします。時間帯は日中でも大丈夫になります。植え替えた場合はよく見てあげてください。鉢植えの場合は一度でも萎れると戻らなくなってしまう事も多々あります。十一月の霜が降りる頃になっても水分は必要ですから忘れないようにしてください。今年の猛暑の影響と水不足で葉が茶色に変色してしまった場合は秋の紅葉は楽しめませんね。そのような樹木は根も傷んでいることが多く来年以降も乾燥によってまた弱ってしまう心配があります。気をつけてください。

【植替え】

常葉樹は早い時季なら可能です。早く植えて年内に新しい根が伸びるようにすると寒さによる傷みを抑えられます。落葉樹は落葉後からが適期になります。百パーセント枯れないわけではありませんが、失敗の恐れは少ないです。ただし落葉樹でもサルスベリやザクロは向きません。またカエデ類は年内に済ませるようにします。鉢植えの樹木の場合は時季をそんなに選びません。

【肥料】

これからの施肥は樹木がいつまでも吸い上げてしまい寒い年は寒害を受けてしまうこともあります。

寒さを待って有機質緩効性肥料（油粕など）を寒肥としてあげたほうが樹木には適していると思います。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。一般家庭ではスプレータイプの薬剤散布がお勧めですね。

落ち葉は病害虫の越冬場所となりやすいのできれいに掃き集めて処分します。イモムシなどの害虫の卵は見つけ次第取り除きます。下の写真は、ゴマフボクトウのフラスです。穿入孔から殺虫スプレーで退治します。



【剪定】

これからは常緑広葉樹（ツバキなど）は弱い剪定にとどめます。強い剪定をして葉を減らしてしまうと寒い冬を乗り切れません。マツ類は古い葉を落としてすっきりさせます。ただし来年の芽を切ってしまうはいけません。落葉樹は落葉後が剪定の適期になります。だからといって切りすぎは観賞価値もなくなり弱ってしまいます。コニファー類は来春まで待ちます。

【倒木・落枝】

九月にも都内でイチョウの枝が落ちてたまたま通り掛かった人が巻き込まれ亡くなるという痛ましい事故がありました。死亡事故に至らなくとも毎年多く発生しています。環境整備のために植えられた樹木が原因となっています。

原因として考えられるのが！

- ① 近年の異常気象。異常な高温、乾燥、突風、大雨などによる樹木の衰弱。
- ② 経年劣化。構造物と同じように植えられてからの年数が経つことよっての衰弱。まさに高度成長期に植えられた樹木がその状態になっている。

③ 植栽基盤の不適。植栽した土壤条件が悪く根系がよく発達しない。

④ 植栽後の不適切な管理。剪定方法などが適切に行われず衰弱。日頃の経過観察の不足による危険度の見落とし。

このようなことが相まって事故が起きていると思われます。事故は公共施設関係だけではなく一般民間施設等でも起こっています。現在は特に管理者責任が問われますので日ごろからの適切な管理が求められます。自然の植物を植えたとしてもそれは自然ではなくあくまでも人工です。

手間暇のかかる厄介者とはとらえずに、適切に管理を行い緑をいつまでも楽しみたいものです。

樹木の危険度判定

- ① 枝や幹に枯れがある。
- ② 葉が他の同じ樹種に比べて小さい。色が黄ばんでいる。秋に早く紅葉したり落葉する。
- ③ 幹や枝が異常に細く伸びすぎている。
- ④ 根が地表面に多く出ている。本来は土中深く伸びている。
- ⑤ 幹や枝にキノコ類が発生している。
- ⑥ 根元や幹に空洞がみられる。幹をたたくと太鼓のような軽い音がする。

【この時期のハナカツミ】



今はまだ緑の葉の状態ですがだんだんと黄葉してきます。鉢植えの場合は根元で葉を切って、軒下などに取り込み冬越しさせます。庭植えの場合は春先まで葉をつけておいたほうが寒さ除けになります。どちらも用土を根元に敷いて増し土をします。時々灌水は必要です。